

行政改革推進中！

平成26年度の取り組み実績をお知らせします

● 問合せ 企画政策課行財政改革推進室 (☎2124)

市は、『第5次行政改革大綱』(計画期間:平成23年度～27年度)を策定し、『職員意識と職場風土の変革』を基本理念として、『職員の意識改革』、『成果を重視した行政経営システムの確立』、『健全な財政運営の確立』の3つの視点から行政改革に取り組んでいます。



また、各視点の下に、個別の推進方策と目標を掲げたほか、第5次行政改革大綱『実施計画』において、目標達成のための45項目の具体的な取り組みを設けるとともに、成果指標(達成すべき状態または数値)を定めて、計画的かつ積極的に取り組むことにより、市民満足度の向上や財政の健全化に努めています。

実施計画における平成26年度の目標達成状況

視点1：職員の意識改革

市民のニーズに的確に対応した行政サービスを提供し、市民満足度の向上を図るため、職員の意識改革や職場の改善に取り組みました。

推進方策	計画期間の最終(平成27年度)目標	平成26年度実績
コスト意識の徹底	時間外勤務時間(年間)を縮減した割合 前年度比5%縮減	前年度比11.9%増 (新規事業の開始や災害発生などによる突発的な事務量の増)
改革・改善の職場風土づくり	職員提案および業務改善に取り組んだ職員数 300人以上	96人
人材育成の体制強化	人事評価の1人当たりの平均評価点 70点以上	70.34点



具体的な取り組み：10項目

目標を70%以上達成した項目(※1)：6項目〔達成率60.0%〕

(※1) 実績値÷目標値で70%以上となった項目のこと

《具体的な取り組みの例》

▷ 時間外勤務時間の縮減

係ごとに、時間外勤務実績を基にして縮減目標を設定し、事務の効率化を図ったほか、『ノー残業デー』(水・金曜日)を推進するとともに、『時差出勤制度』(夜間の会議開催日に出勤時間を遅らせる制度)を試行しました。特に、前年度に時間外勤務時間が多かった係は、縮減計画を作成して大幅な縮減に取り組みました。

【成果指標】職員1人当たりの時間外勤務時間数(年間)【平成26年度目標】前年度実績の5%減 → 【実績】11.9%増

▷ 窓口対応の改善

市役所1階の窓口担当部署において、『さわやか対応推進週間』(年4回)に合わせ、『窓口アンケート調査』を実施しました。また、回答の中で出された意見や要望は、業務の重点目標として取り入れ、対応の改善に取り組みました。

【成果指標】窓口アンケート調査で、職員の対応に『満足』または『やや満足』と回答した割合(合計)

【平成26年度目標】85.0% → 【実績】95.0%

▷ 各種研修会の開催

市主催の研修会を開催したほか、外部の研修会への参加機会を増やし、職員の能力開発・向上に努めました。

【成果指標】研修会への参加者数(延べ人数)【平成26年度目標】1,500人 → 【実績】1,068人

視点2：成果を重視した行政経営システムの確立

行政評価の客観性を確保するとともに、評価制度の向上を図るため、行政評価委員会による第三者評価を実施しました。また、経営戦略会議を開催し、必要性や緊急性などを考慮しながら事業の採択について検討しました。

推進方策	計画期間の最終（平成27年度）目標	平成26年度実績	
行政評価の精度向上	第三者評価で、『総合的な内容が悪い』とされた評価表の割合	0%（※2）	8.0%
政策形成プロセスの再構築	行政評価結果を予算編成に反映させた事務事業の割合（政策的事業）	100%	100%

（※2）平成26年度の目標値（第三者評価は隔年実施であり、平成27年度は実施しないため）



具体的な取り組み：5項目

目標を70%以上達成した項目：2項目〔達成率40.0%〕

《具体的な取り組みの例》

▷行政評価の成果指標の見直し

施策や事務事業の妥当性、有効性、コスト面などを測るものさしである『成果指標』を見直し、行政評価委員会において第三者評価を受けました。

【成果指標】見直した成果指標が、第三者評価で『適切である』と判定された割合

【平成26年度目標】80.0% → 【実績】52.0%

視点3：健全な財政運営の確立

最小の経費で最大の効果を上げる行政運営をめざして、市税などの収納率向上による自主財源の確保に取り組みました。また、職員数を抑制するとともに、職員の適正な配置に努めました。

推進方策	計画期間の最終（平成27年度）目標	平成26年度実績	
自主財源の確保	市税の収納率（現年度）	98.3%以上	98.8%
	自主財源比率	45.5%以上	38.9%
健全な財政基盤の確立	実質公債費比率	22.2%以下	17.6%
	経常収支比率	96.6%以下	92.8%
定員管理の適正化	職員数	555人以下	468人（4月1日現在）
アウトソーシング（外部委託、民営化など）の導入	導入の要否について方針を決定した事業数	100%	11.1%
	導入方針を決定した事業のうち、アウトソーシングを実施した事業数	100%	0%



具体的な取り組み：39項目

目標を70%以上達成した項目：28項目〔達成率71.7%〕

《具体的な取り組みの例》

▷市税の収納率の向上

コールセンターに委託して、市税の滞納者に対する集中的な電話催告を実施するとともに、強化期間中には税務課の全職員による催告も行いました。また、滞納者向けの時間外・休日相談や、ファイナンシャルプランナーによる生活再建支援に取り組んだほか、差押えの強化により税収および税負担の公平性の確保に努めました。

【成果指標】市税の収納率（現年度）【平成26年度目標】98.7% → 【実績】98.8%

▷農業集落排水事業特別会計の健全な運営

使用料の収納率を向上させるとともに、公正な賦課を図るため、戸別訪問（年間327回）を実施し、納付勧奨や使用実態調査を行いました。

【成果指標】使用料の収納率（現年度）【平成26年度目標】96.8% → 【実績】99.1%

▷定員適正化計画の推進

退職者の不補充や、組織機構の見直しによる部局間の柔軟かつ適正な人員配置に努め、可能な限り職員数を抑制しました。

【成果指標】職員削減数（前年比）【平成26年度目標】87人 → 【実績】93人

▷地籍調査における一筆現地調査の外部委託の実施（アウトソーシング導入）の検討

過去に業務の一部を外部委託した経緯や、全国的な実施状況を参考に、経費面や実施によるメリット・デメリットなどを総合的に検討しました。

【成果指標】導入または非導入の方針決定【平成26年度目標】方針決定 → 【実績】方針決定（導入せず）

『ふるさと応援寄附金』平成26年度の寄付の状況と活用事業

● 問合せ 企画政策課ふるさと応援係 (☎☎2312)・財政課財政係 (☎☎2112)

平成26年度の寄付金総額(件数)は、**8,311万1,071円(4,194件)**で、この制度を始めた平成20年度からの合計金額は、**9,387万313円**となりました。ご寄付いただいた皆さま、誠にありがとうございました。市では、寄付者の意向に配慮しながら、寄付金の一部をさまざまな事業に活用させていただいています。

寄付金の受入状況

コース名 年度	①歴史、文化を活かしたふるさとづくり	②市民によるまちおこし	③自然環境の保全	④市長おまかせ	合計
平成26年度	1,384万2,070円 (766件)	807万4,000円 (467件)	1,846万9,001円 (985件)	4,272万6,000円 (1,976件)	8,311万1,071円 (4,194件)
平成25年度 《参考》	15万5,000円 (6件)	3万円 (3件)	3万円 (3件)	188万5,000円 (13件)	210万円 (25件)

寄付金の活用状況

『甲子園プロジェクト』や『観光PR』、『家読^{うちよみ}』を推進するための事業経費の一部として活用しました。

平成27年度に活用する内容

『ゲートボール場のトイレ洋式化』や『観光PR』、『大川内鍋島窯跡学術調査』、『ブックスタート』などの事業経費の一部として活用します。また、残りの寄付金についても、今後の事業のために大切に活用させていただきます。



↑平成26年度の観光PR事業で実施したKKRホテル博多での『春の美食宴』の様子

10月1日は『浄化槽の日』です

● 申込・問合せ 下水道課業務係 (☎☎2395)

浄化槽を使用している皆さんへ

浄化槽は、下水道と同じように生活排水をきれいにしてくれます。しかし、使い方を誤ると、水質の汚濁や悪臭の発生を招くなど、生活環境を悪化させる原因にもなります。正しい使用方法を心がけ、適正な維持管理を行ってください。

◆浄化槽は、定期的に維持管理をしてください

①保守点検

浄化槽の点検、調整などを行ってください。専門知識が必要ですので、県の登録業者に委託してください。

②清掃(年1回以上)

清掃とは、浄化槽の槽内にたまった汚泥を抜き取ることで、市の許可業者に委託してください。

▷保守点検(県登録業者)と清掃(市許可業者)を行う事業所

株式会社あくあくぐりーん (☎☎4738)

株式会社カンセイ (☎☎6138)

▷保守点検(県登録業者)のみを行う事業所

エコ・サイエンス株式会社 (☎☎2677)

株式会社翼コンサルタント (☎☎3038)

③法定検査(年1回)

保守点検や清掃がきちんと行われ、浄化槽が正しく機能しているか、一般財団法人佐賀県環境科学検査協会(指定検査機関)の検査を受けてください。

※浄化槽を廃止するときは、届け出が必要です。伊万里保健福祉事務所環境保全課(☎☎2103)に確認してください。

◆日常の使用では、次のことを注意してください

▷便器を清掃するときは、微生物に影響を与える薬剤を使わない。

▷トイレにトイレットペーパー以外の異物を流さない。

▷台所から野菜くずや油を流さない。

▷浄化槽の電源は切らない。

▷マンホールの上に物を置かず、ふたはいつもきちんと閉じておく。

これから住宅に浄化槽を設置する皆さんへ

市は、公共下水道および農業集落排水の処理区域外に浄化槽を設置しようとする人に補助を行っています。補助金の申請書は、提出順に受け付けています。なお、予算には限りがありますので、事前に受け付け状況などを下水道課に確認してください。

救急優良事業所認定証交付式

協働による

安全・安心なまちづくりをめざして

伊万里・有田消防本部は、9月9日、伊万里・有田地区の5事業所を新たに救急優良事業所に認定しました。これは、救急講習の受講やAEDの設置など、一定の要件を満たした事業所を消防長が認定する制度で、平成23年度に始まりました。今回で19事業所が認定を受けています。

消防機関への迅速な通報や救急隊が到着するまでの適切な応急処置など、事業所との

協働による救命率向上に向けた取り組みが今後さらに期待されます。

◆今回認定された事業所

- ▽タカタ九州株式会社有田製造所（有田町）
- ▽社会福祉法人佐代川福祉会 さくら保育園（山代町）
- ▽夢咲ホームみず穂（二里町）
- ▽中国木材株式会社伊万里事業所（山代町）
- ▽有限会社有田スイミングスクール（有田町）



↑新たに認定証の交付を受けた救急優良事業所の皆さん

いよいよ販売開始!!

伊万里で買うBuy! 『とくとくお買い物券2015』

プレミアム率
20%

伊万里市内の登録店舗で使用できるプレミアム付商品券『伊万里で買うBuy! とくとくお買い物券2015』を販売します。

●販売期間 10月4日（日）～平成28年1月31日（日）

※売り切れしだい、販売終了します。

●販売所（販売時間は各施設で異なります）

▷10月4日（日）市民センター（文化ギャラリー）、伊万里玉屋（2階）、黒川・松浦・山代公民館

▷10月5日（月）以降伊万里商工会議所（平日のみ）、伊万里信用金庫（平日のみ）、伊万里玉屋（店休日を除く）

●発行総額 4億1,400万円（34,500冊）

●販売形式 1冊当たり（1,000円券×12枚=12,000円）10,000円で販売

●有効期間 10月4日（日）～平成28年1月31日（日）

※有効期間を過ぎると使用できません。

※現金への払い戻しはできません。

●購入上限 1世帯当たり5冊（5万円）まで

※伊万里市民が対象です。

●購入方法 市役所だより9月15日号と一緒に配布した申込書に必要事項を記入し、販売所に購入代金と一緒に持参してください。

※販売所ごとの先着順で販売します。

●問合せ先

▷伊万里商工会議所（☎23111）

▷企業誘致・商工振興課（☎2184）

市長雑感

伊万里市長 塚部 芳和

寝台列車

かつて、列島各地を結んだ寝台列車は、札幌と上野を結ぶ寝台特急『北斗星』の8月の運行を最後に、その歴史に幕を下ろしました。昭和33年に登場した寝台列車は、高度経済成長期に、ビジネスマンの足として東西走り、国鉄の顔として活躍してきました。

当時、九州では、長崎と東京を結ぶ寝台列車『さくら』と『西海』が運行。こちらを夕方出発し、到着するまでの間、車内でゆつくとビールなどを飲み、暗くなる3段ベッドに横たわり、明け方には洗顔し、富士山を眺めながら昼前に東京駅に着くという、まさに動く宿泊列車です。私も東京出張などによく利用したものです。しかし、時代の変遷とともに、新幹線や飛行機、高速・夜行バスにおされて、ついに姿を消したことは、一抹の寂しさが残ります。

と言われます。井沢八郎さんの曲『あゝ上野駅』の一節に、『どこかに故郷の香りをのせて入る列車の懐かしさ』、『就職列車に揺られて着いた：上野は俺らの心の駅だ』とあるように、ふるさとと東京を結ぶ列車には、当時の人たちの特別な思いがあります。春日八郎さんの曲『赤いランプの終列車』も、寝台列車をテーマにしたものです。

集団就職で、東京や名古屋などへ旅立つ人を駅ホームで見送った光景は過去のものとなり、昭和の時代が遠くに去った感じがします。乗り物は、速さを追求される時代となりましたが、『せまい日本、そんなに急いでどこへ行く』の言葉に代表されるように、のんびりと風情を感じながら旅するのもいいかも知れません。また、寝台列車が復古調で再登場する日があることを期待しています。

秋本番、三橋美智也さんの『哀愁列車』でも口ずさんでみましょう。